

西九州新幹線 長崎駅



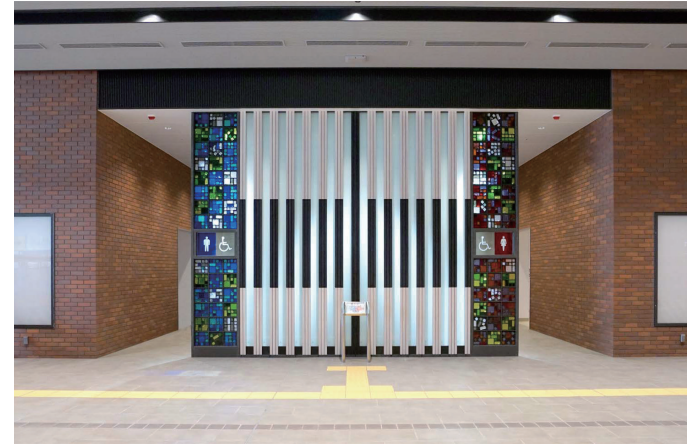
外観

鎖国政策がとられていた江戸時代でも、唯一世界に門戸が開かれていた長崎。その歴史や文化の香り漂う長崎の新たな玄関口として、2022(令和4)年9月に開業する「西九州新幹線 長崎駅」の駅舎。



外観(夜景)

駅舎は、ホーム全体を軽やかに、流れるように覆う膜屋根が最大の特徴。日中は、膜屋根を透過して明るい日差しが降りそそぎ、夜は大きな光の蔭となって街を彩る。



トイレ入口

レンガ調タイルを使用した柱型や床から天井まで立ち上がるガラススクリーンが印象的なトイレ入口。駅舎には、親しみやすい新しい街の顔となるよう、長崎らしさを感じる素材や伝統的な工芸などを取り入れている。



トイレサイン

ガラススクリーンを構成する各ユニットは、長崎市の花であるアジサイをモチーフに、市内の小学生以下の子どもたち66人が参加し作成。駅舎のコンセプトである「ともに築く」を具現化した。



バリアフリートイレ 入口

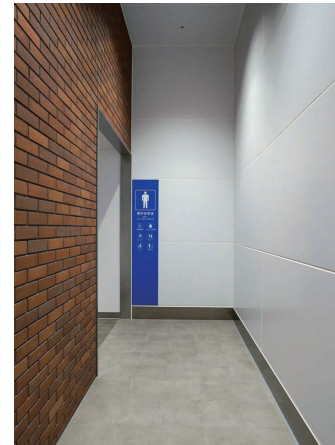


ガラススクリーン後方に配置されたバリアフリートイレ。出入口前の通路は、車いすでの方向転換や車いす同士のすれ違いもできる、1800mm以上の通路幅を確保している。



バリアフリートイレ

車いす使用者、オストメイト、大型ベッド使用者に配慮したバリアフリートイレ。左右勝手違いで2ヶ所用意し、さまざまな利用者の使い勝手に配慮している。



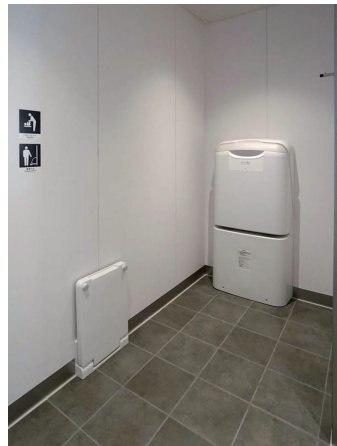
男性トイレ 入口

バリアフリートイレの機能分散を意図して、男女各トイレ内に多様な機能を持つトイレブースを設置。入口には男性を表すサインのほかに、設備や配慮対象がわかりやすくピクトサインで表示されている。



男性トイレ 洗面コーナー

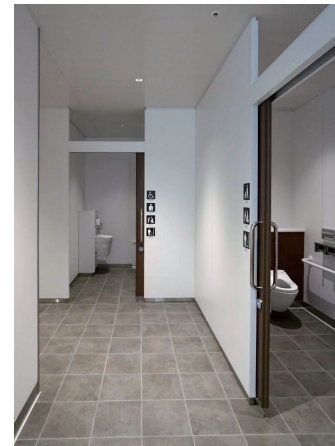
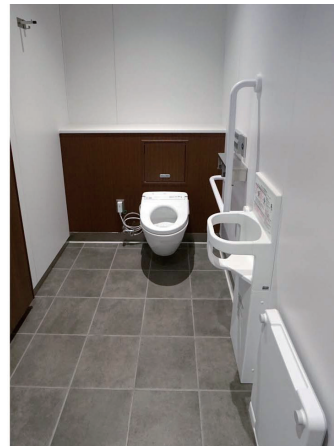
洗面コーナーに棚やフックを備え、手洗い時の手荷物に配慮。また、杖使用者などに配慮した手すり付きや小さなお子様に配慮して高さを低め(H=600mm)にしたカウンターなどが設置されている。

男性トイレ
親子配慮コーナー

入口に近い位置に設置された親子配慮コーナーには、ベビーシートとフィッティングボードを設置。ベビーカーを置いてもゆとりのある広めのスペースを確保している。

男性トイレ
小便器コーナー

隣人の視線を気にせず利用できるように、小便器の間に仕切りを設置。性の多様性も含め、だれもが安心して使用できるように配慮。各小便器横には傘などを掛けられるフックも備えている。

男性トイレ
親子配慮ブース

ベビーカーやキャリーバッグを持つ利用者を想定し、トイレ空間内の通路幅にも余裕を持たせた。さらに、親子配慮ブースは、ベビーカーも一緒に入ることができる広めのスペースを確保している。

男性トイレ
簡易多機能ブース

車いす使用者、オストメイト、乳幼児連れに配慮した簡易多機能ブース。

西九州新幹線 長崎駅



女性トイレ 入口

男性トイレと同様に、設備や配慮対象がわかりやすいようにピクトサインを表示。通路は、大きな荷物を持った利用者などもスムーズにすれ違えるよう、ゆとりのある通路幅を確保している。



女性トイレ 洗面コーナー

手荷物に配慮するとともに、手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライ（ハンドドライヤー）を設置し、衛生面にも配慮している。



女性トイレ
スタイリングコーナー

大きめの荷物が置きやすいよう、カウンターの奥行きを広め（約500mm）に設定。顔映りのよい間接照明付きの鏡を設置し、お化粧直しがしやすい配慮がなされている。



女性トイレ
親子配慮コーナー

幼児用小便器やベビーシート、フィッティングボードを備えた親子配慮コーナー。入口近くのわかりやすい位置に設置している。



女性トイレ
簡易多機能ブース

ブース入口には、ブース内の設備がひと目でわかるよう、視認性のよいピクトグラムと日本語・英語で名称を表示している。



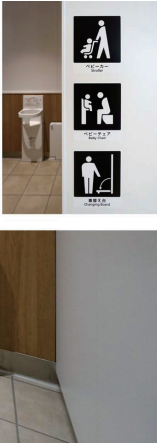
女性トイレ
簡易多機能ブース

コンパクトオストメイトパックやベビーチェア、手すり、背もたれを完備。大便器は、床面の清掃性がよい壁掛式とし、清潔で快適なトイレを維持しやすいよう配慮している。



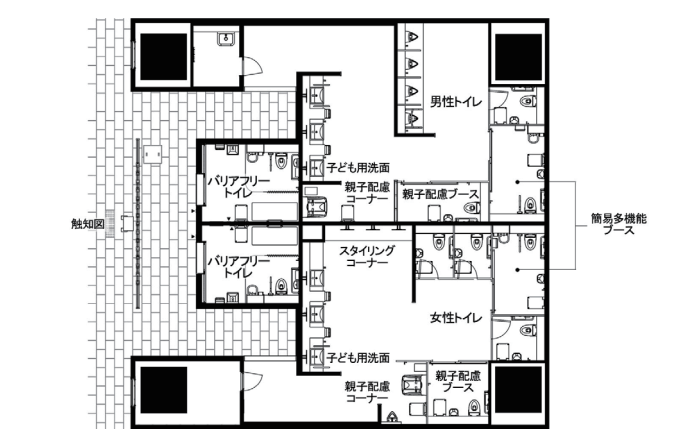
女性トイレ
親子配慮ブース

余裕のある広さを確保し、かつ出入口の扉は引戸を採用し、ベビーカーでの出入りのしやすさに配慮している。



大便器ブース
操作系設備配置

大便器まわりの紙巻器や洗浄ボタンなどの操作系設備は、公共トイレ操作系JIS（JIS S 0026）に沿った配置や形状、色とし、視覚障がい者を含むさまざまな利用者に配慮している。



トイレ図面

2ヶ所のバリアフリートイレのほかに、男性、女性トイレにさまざまな機能を持つブースを設置。スーツケースなど大きな荷物を持った方の利用を想定し、通路や各個室など、全般に余裕ある広いスペースを確保している。

水まわりの特長

建物の特徴

西九州新幹線は、武雄温泉から長崎までの5駅約67kmをおよそ30分で結ぶ、高速鉄道路線。2022（令和4）年9月開業予定の「西九州新幹線 長崎駅」の駅舎は、コンベンション施設やホテルなどの周辺施設と直結し、長崎の新たな玄関口として、地域活性化の起爆剤として期待される。駅づくりの統一コンセプトは「ともに築くときめきの駅」とし、5駅それぞれの文化や歴史、自然の素材や伝統的な工芸などを取り入れながら、新しい街の顔となり親しみやすさをもてるよう、県や市と連携しながら推進。長崎駅舎の特徴でもある、夜景にも貢献するホーム全体を覆う膜屋根はその実現に向けて工法までも工夫を凝らした。また、駅のシンボルとなるスタンドガラスのスクリーン制作には市民も参画した。

トイレの特長

バリアフリー法の改正にあわせて、左右勝手を変えた2ヶ所のバリアフリートイレのほか、男女各トイレに車いす使用者やオストメイト、乳幼児連れ配慮など多様な機能を分散、充実させている。また、新幹線駅舎のサービスレベルの向上のため、トイレスペースは、全般に広く余裕をもって確保された。観光客やビジネス客のスーツケースやキャリーバッグを想定し、通路幅や大便器ブースのスペースを広めに確保。ベビーシートを備えたおむつ替えコーナーを独立して設け、すべての大便器ブースにフィッティングボードとベビーチェアを設置するなど、乳幼児連れへの配慮も充実させている。

建築概要

名称	西九州新幹線 長崎駅
所在地	長崎県長崎市尾上町
事業主	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局
設計	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局 株式会社 安井建築設計事務所
施工	清水・西海・三基九州新幹線（西九州）、 長崎駅新築特定建設工事共同企業体
竣工年月	2022年3月
敷地面積	18,710㎡
建築面積	3,286㎡
延床面積	3,289㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・地上2階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュバルブ式:UAXC1CS1AN
ウォシュレットアプリコットP（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5830YR
棚付二連紙巻器:YH701
自動洗浄小便器:UFS900JCS
洗面器:L350C
台付自動水栓:TENA41A
クリーンドライ:TYC420WC
コンパクトオストメイトパック:UAS81LDB2NW
収納式多目的シート:EWC520ARS
幼児用小便器:U310GY
ベビーシート:YKA24S
ベビーチェア:YKA15S
フィッティングボード:YKA41R
幼児用手すり:YYB10
フック:YKH22